

第13回
香村賞ビジネスプラン
募集要項

2022年6月

和歌山大学

香村常雄基金(香村賞)

和歌山大学では、2010年から本学学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援を目的として、全学生(院生を含む)を対象にして、柑芦会(和歌山大学経済学部同窓会)の「香村常雄基金」を基にした「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催しています。

香村常雄基金とは、和歌山高等商業学校(和歌山大学経済学部の前身)4期生の故香村常雄氏・富子氏ご夫妻のご遺志・ご遺産によって設立された基金です。香村常雄氏は愛知県岡崎市のご出身で、1926年3月(大正15年)に和歌山高等商業学校に入学、1929年3月(昭和4年)に高商4期生として卒業されました。その後、明治生命保険株式会社にご入社、さらに2、3の会社でご活躍され、計理士などもされました。1943年9月(昭和18年)に応召、満州(現 中国東北地方)で終戦ののち、1946年9月17日(昭和21年)に北朝鮮(現 朝鮮民主主義人民共和国)の病院でご逝去されました。富子夫人との結婚生活は短い期間でしたが、その間、常雄氏はいつも和歌山高等商業学校のことに誇りを持って富子夫人に語っておられたようです。

その後、富子夫人から1986年(昭和61年)に柑芦会に高額のご寄附を頂き、さらに2010年(平成22年)にご逝去された折に、ご遺産のほぼ全額の約1億4000万円をご寄附頂きました。そのご遺志を後世まで引き継ぐことを願って、柑芦会において「香村常雄基金」が設立されました。

本学教職員・学生一同、故香村常雄氏・富子氏ご夫妻のご遺志を末永く引き継ぐとともに、重ね重ねのご寄附に御礼と感謝を捧げたいと思います。

和歌山大学柑芦会の歴史

1926年3月11日(大正15年)、和歌山高等商業学校第一回卒業証書授与式が挙行されたが、卒業式直前に生徒の間からこのまま四散するにしのびないとの声が起こり、数名が発起人となって学校当局の同意をとりつけ、卒業証書授与式の日、和歌山高等商業学校同窓会の発会式が挙行された。

同窓会は、のち1929年(昭和4年)に「柑芦会」と命名された。

「柑芦」の名付親は岡本校長で、和歌山といえば「蜜柑」、学校の敷地あたりは「芦」が生い繁っていたことから「蜜柑」の香りと、天指して上に伸びる「芦」のたくましさ、強さにちなんで命名されたものである。柑をカンと読まずコウと呼びならわしている。(柑芦会ホームページより引用)

目次

I. はじめに

II. 募集部門

1. アイデア部門
2. ビジネスモデル部門

III. 応募について

1. 応募資格
2. 応募方法
3. 応募説明会

IV. 香村賞の賞金

V. 審査

1. 審査方法
2. 審査基準
3. 審査スケジュール
4. 最終審査会（コロナ感染症対策として）
5. 審査委員
6. 表彰式および交流会

VI. 注意事項

1. 応募内容の取扱
2. 問い合わせ先

I. はじめに

和歌山大学では、本学学生の勉学意識と社会的貢献意識の向上、及び、就職支援・創業支援を目的に全学生(院生を含む)を対象として、柑芦会(和歌山大学経済学部同窓会)の「香村常雄基金」を活用した「香村賞ビジネスプラン」コンテストを開催します。

ポストコロナ社会において、グローバル間での競争激化や気候変動、国内の少子高齢化に伴う地方と都会との格差など、未来において不透明な状況が続いています。それぞれの学生自身が、様々な課題に向き合い、新たな価値を創造できる柔軟なアイデアや自分の「在りたい」未来や社会の新たなモデルを想像し構築できる斬新なビジネスモデルを募集いたします。

II. 募集部門

1. アイデア部門

グローバルな課題を解決するアイデアや社会・地域の課題に焦点をあてたアイデアだけでなく、自分の身の回りにある「困ったこと、不満や不便なこと、ちょっと変えたいこと」をジブンゴトとして捉えた役立つアイデアなど枠にとらわれない自由な発想のアイデアをお待ちしております。気軽に応募してください。

2. ビジネスモデル部門

近い将来に自分でも実践したいと思われるビジネスモデル(※)を募集します。事業化に向けた小さな挑戦(実践)を前提としている学生が対象です。新しいビジネスやスタートアップはもちろん、既存の業種業態は問いません。実際に起業(法人設立など)する時期は在学中か卒業後かは問いません。また、卒業後、就職を考えていても応募は可能です。

※ビジネスモデル: 商品やサービスなどの付加価値の提供と、収益獲得の仕組みを企画し、構築すること。優れたビジネスモデルは、自身のみならず地域や社会の持続的な成長を実現するために必要になります。

III. 応募について

1. 応募資格

1) アイデア部門

和歌山大学に在籍する学部生、大学院生、外国人留学生の個人またはグループ(5人まで)。ただし、社会人学生、研究生、科目等履修生、聴講生、休学中の学部生・大学院生は含むことはできません。

2) ビジネスモデル部門

和歌山大学に在籍する学部生、大学院生、外国人留学生、和歌山大学卒業生及び修了生の個人またはグループ(5人まで)。また、このグループには他大学の学部生及び大学院生を含むことはできません。

ただし、いずれの大学であっても社会人学生、研究生、科目等履修生、聴講生、休学中の学部生・大学院生をグループに含むことはできません。

2. 応募方法

応募サイトから必要事項を登録した後、応募用紙をアップロードサイト経由で提出してください。

2)、3)両方行わなければ、応募は完了しません。

1) 応募用紙は、和歌山大学の以下ホームページの本年度の募集について

「第13回香村賞ビジネスプランの募集」からダウンロードしてください。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/sangaku/incubation/businessplan>



2) 下記の応募サイトから必要事項を登録してください。

応募にあたっては、

「代表者の氏名・学部・学年・学生番号・連絡先」

「その他応募者全員の氏名・学部・学年・学生番号」

「応募プランのタイトル(公開)」

「応募プランの概要 100文字(公開)」を登録する必要があるため、

事前にメモ帳などに準備しておいてください。

<https://forms.gle/PbKz5F1k3GCYwm9j7>



3) 応募用紙の提出は、下記のアップロードサイトを通じて行ってください。

注意)ファイル形式は「PDF」のみ

Wordファイルの応募用紙をPDFに変換してください。

ファイル名は「部門名_代表者氏名」に変更してください。

(例:ビジネスアイデア_和歌山太郎.pdf)

https://proself.center.wakayama-u.ac.jp/public/rHsEAAAtRsMMAmZoBk7qAXMP-NSqil5Bk8qBxnNxup_iT



※企業賞へのエントリーについて

応募者全員が企業賞の審査対象となり応募内容を企業に提示します。

企業賞を辞退される方は、応募の際にエントリーしないにを入れてください。

4) 受理通知の返信が、応募サイトの登録翌日(土日祝を除く)までにあることを確認してください。もし、返信がない場合は何らかのトラブルにより不達の可能性がありますので、「VI. 注意事項 2.問い合わせ先」までご連絡ください。

5) 応募後に応募内容・用紙の差し替え、修正、再送は締め切り期間内外であっても一切受け付けられません。内容を十分に確認の上、提出してください。(例年、数件のミスがあります)

IV. 香村賞の賞金

1. アイデア部門

最優秀賞 1件 賞状と賞金 10万円

2. ビジネスモデル部門

最優秀賞 1件 賞状と賞金 10万円

3. 両部門共通:企業賞

優れたアイデアやビジネスモデルには本コンテストの趣旨に賛同する民間企業から特別に「企業賞」が贈呈されます。

■ご提供企業様

●紀陽情報システム株式会社

金融系システムや自治体の総合行政システムなどの開発を行っており、ICT(情報通信技術)を通じて和歌山県から全国の暮らしを支えています。ICTを活用した学生ならではの自由な発想のアイデアに期待しています。

<https://www.k-js.co.jp/recruit/>

●株式会社ラック

地域、特に和歌山県内での実証や実装をめざすサービス(Web、ICT、IoT)が実現できそうなアイデアやプランを待っています。知識やプレゼンの上手さよりも実体験からの着想・発案と強く解決したいと思う熱量に期待しています。

<https://www.lac.co.jp/>

●株式会社 Relic 和歌山イノベーションラボ

和歌山県内の課題解決や新事業の創造に新しいアプリやソフトウェア開発を伴う可能性のあるアイデアをお待ちしております。

<https://relic.co.jp/>

企業賞の最新の情報は、本学ホームページか「VI. 注意事項 2.問い合わせ先」までお問合せください。

「企業賞」提供企業:株式会社ラック ほか

※各部門賞および企業賞は、応募内容および最終審査会のプレゼンテーションの内容によっては、特別に賞を出す場合や「該当者なし」と評価される等、受賞の件数が増減する場合があります。また、各賞は予告なく変更される場合があります。

V. 審査

1. 審査方法

審査は学内外の審査委員による「2段階審査」を行います。応募書類に基づく「書類審査」と、その上位者(10組程度)がプレゼンテーション(質疑応答を含む)を行う「最終審査」があります。

いずれも、各審査委員が下記の審査項目を評価し、その合計得点と審査委員による協議により受賞者を決定します。なお、書類審査及び最終審査の審議過程・内容に関する問合せには応じられません。

2. 審査基準

1) アイデア部門

(A) アイデアの着眼点

- ・着眼点に学生ならではのユニークな視点や新鮮さはあるか。
- ・常識にとらわれないチャレンジ性があるか。
- ・思いついたきっかけ(自己の体験、背景)、社会や地域にどう貢献できるか。

(B) 新規性・独創性

- ・アイデアにこれまでにない、新しい発想、オリジナリティがあるか。
- ・切り口が新しいか。(業界初、地域初、など)
- ・商品、サービスとして独創性はあるか。新たな価値があるか。

(C) 社会性・市場性

- ・アイデアが、社会や地域にとってメリットをもたらすか。変革を促すか。
- ・商品、サービスが市場にニーズがあるか(重要度、インパクト)。

(D) 課題の発見・解決

- ・社会的な背景や具体的なニーズなどから目的や課題を明らかにしているか。
- ・自分なりにどう解決できるか、なぜ必要とされるのか等があるか。

(E) アイデアの実現可能性

- ・商品、サービスをどう生産または提供していくか。
- ・必要なリソースは何か。
- ・技術や特許、法的制約等があるかなど。

(F) 表現力、プレゼンの明快性

- ・原稿(発表)内容は、データを示すなどわかりやすい表現になっているか。
- ・発表の内容や方法が工夫され説得力があるか。
- ・質疑応答に準備でき、答えているか。

2)ビジネスモデル部門

(A)ビジネスモデル(事業)の全体内容

- ・提供する価値(商品、サービス)が、学生ならではの視点や新鮮さがあるか。
- ・なぜ着目したのか。ビジネスの背景や目的、課題が明確か。
- ・明らかにした課題を解決するための検討が具体的に示されているか。

(B)成長性・市場性

- ・世の中の流れ、ニーズに合っているか。
- ・継続的に成長していく可能性を感じられるか。
- ・ターゲットとなる市場にどんな特徴やリスクがあり、どう変化していくのか。
- ・根拠のあるデータなどを持って示されているか。

(C)競争力・顧客優位性

- ・競合となる商品、サービスを調査し対策がなされているか。
- ・自身と比較して、どのような優位性(特徴、強み、差別化)があるか。
- ・品質、コスト、イメージ、アフターサービスなどにおいて競争力はあるか。

(D)目標設定・活動計画

- ・販売方法や顧客獲得数などの目標数値や活動計画、運営体制、リソースの確保などが明確か。
- ・法律や社会規範に照らし実現可能性を想定できるか。
- ・仮説検証しているか(アンケートの実施やテストトライアルなど)。

(E)収益性・採算性

- ・説得力のある売上や利益(見込み)が根拠をもって示されているか。(価格×数量など)
- ・原価やランニングコストなどが根拠をもって示されているか。(人件費、家賃、宣伝費、交通費など)

3. 審査スケジュール

- 1) 募 集 期 間 ~11月7日(月)13時厳守
- 2) 書類審査期間 令和4年11月10日(木)~11月28日(月)
- 3) 書類審査結果の通知 令和4年12月2日(金)
- 4) 最終審査会 令和5年1月20日(金)午後(学内予定)
- 5) 表彰式及び交流会 令和5年1月20日(金)夕方(最終審査会後に開催予定)

最新情報は、本学ホームページか「**VI. 注意事項 2.問い合わせ先**」までお問合せください。

※審査スケジュールは予告なく変更される場合があります。

4. 最終審査会 (コロナ感染症対策として)

最終審査会は、書類審査通過者が審査員に対して本学キャンパス内においてプレゼンテーションを行う形式で開催されます。ただし、何らかの事情で登学できない場合はオンライン発表にも対応しますので、希望する場合は書類審査結果の通知後、速やかに「**VII. お知らせ 2.問い合わせ先**」まで連絡してください。

なお、オンライン発表の場合、試作品などを見せることができない可能性があります。

5. 審査委員

審査委員は、本学学長を審査委員長として、学内審査委員、学外審査委員及び企業賞提供機関によって構成されます。ただし、審査委員及び委員数は予告なく変更される場合があります。

6. 表彰式および交流会

最終審査会后、同日、表彰式及び交流会を開催します。この交流会では応募者と審査委員とがビジネスプランに対する意見交換、助言・講評を直接聞きながら、より良いビジネスプランへと改善する機会として設けるものです。是非、応募者の皆さんは積極的にご参加ください。

なお、入賞者については後日、学内掲示板及び本学ホームページ上にて公表するとともに、応募者全員に結果と審査講評を送付します。

VI. 注意事項

1. 応募内容の取扱

- 1) 応募されたプランは、審査会等において発表することに同意したものとして取り扱います。また、和歌山大学及び企業賞提供機関のホームページや報告書への掲載、企業賞提供機関への情報提供を行うことがあります。あらかじめご了承ください。
- 2) 特別な事項(ノウハウや営業の秘密事項など)については、法的保護を行うなど応募者の責任で対応してください。
- 3) 応募内容、受賞者の情報については、報道機関などに提供することがあります。

香村賞ビジネスプランコンテストだけでなく起業やアントレプレナーシップに関する事など、随時相談を受け付けております。下記のメール宛に、相談内容、候補日時を記入して予約してください。折り返し担当者からメールいたします。

2. 問い合わせ先

和歌山大学 産学連携イノベーションセンター

アントレプレナーシップデザインセンター設置準備室

電話 073-457-7575

連絡先 kamura-prize@ml.wakayama-u.ac.jp